

西原村の皆さんへ

これは、先月10月23日に行われた、中越地震12周年『山古志地域追悼式』で山古志小中学校の児童生徒のみなさんが口上した復興へのメッセージを一部抜粋し、西原村の皆様へ向けたメッセージに加工したものです。

2004年10月23日 午後5時56分。
山古志は、大きな揺れに襲われました。

山が崩れ、牛舎が倒れ、池が割れ、
多くの大切な命が失われました。

もう二度と山古志に
戻れないかもしれない。

でも、

私たちはあきらめませんでした。

帰ろう、ふるさとへ!

帰ろう、山古志へ!

たくさんの方々からの
励ましで、
心がふるえました。



本当に、感謝の気持ちで
いっぱいです。

ありがとうございました。

私たちは、立ち直る
勇気と希望をもらいました。

つなごう山古志の心

それは、

ふるさとを愛する心。

ありがとうという感謝の心。



互いに助け合い、一日一日を
大切に生きていく心。

私たちは、山古志が大好きです。

私たちは、これからも山古志で
力強く生きていきます。

希望をもって、あきらめず
乗り越えてください。

復旧した棚田で出来たもち米を
使って、山古志地域のもち屋さんが
作った餅です。

この餅のように粘り強く!!

復興に向けて、
一步一步進んでいって
ください。



私たちも、山古志から
応援しています。
一緒にがんばりましょう。